福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

十二支～あじびの動物たち

2009年12月10日（木）～2010年2月2日（火）
アジアギャラリーB

お正月になると思いだす十二支。本展では、当館のコレクションから十二支の動物たちを探してみます。縁起ものの動物たちも、絵の中ではサッカーをしたり、草を食んだり、ときに人間に痛めつけられたり・・・さまざまな姿を見せてくれます。

さぁ、「あじびニュース」（1月発行）の表紙片手に、子（ね）・丑（うし）・寅（とら）・卯（う）・辰（たつ）・巳（み）・午（うま）・未（み）・申（さる）・酉（とり）・戌（いぬ）・亥（い）の十二種類の動物たちが、アジアの作品のどこに、どんなふうに隠れているか、見つけてみましょう。

そして、新年のお正月からは、「あじび動物おみくじ」が登場します。絵の中の動物たちが、今年一年を、作品にちなんで占ってくれます。



サイード・アハメッド・ホセイン

寅――2010年

サイード・アハメッド・ホセイン　バングラデシュ
「虎」「虎を食う古代の怪獣」　1994
「耕作する動物たち」
油性ペイント・ブリキ

アフローザ・イスラム・ルマ　バングラデシュ
「動物たちのピクニック」　1994
油性ペイント・ブリキ

アラウッディン　バングラデシュ
「人間の服を着て戦う動物たち」　1994
油性ペイント・ブリキ

作家不詳　バングラデシュ
「ピンクの虎、紫の象」　1994
「紫の象と列車」
油性ペイント・ブリキ

タン・ダウ（唐大霧）　シンガポール　「虎の鞭」「逃げ場がない」
「頭からしっぽまで」
「あと5000頭しか残っていない」　1991
鉛筆・紙

サン・ミン　ミャンマー
「競争」　2003
アクリル・画布

ナズリー・ライラ・モンスール　バングラデシュ
「使える絵画：食卓」　2005
アクリル・画布

ションブ・アチャルジョ　バングラデシュ
「ガジの絵巻物」　1994
顔料・布

スレイヤ・ラーマン　バングラデシュ
「植民地時代のベンガル／壁掛け」　2000
布に刺しゅう

タシ・ワンチュック　ブータン
「タントラの創造」　2005
テンペラ、顔料・手漉きの紙

カーリガート派　インド
「虎皮に座すシヴァ」　19世紀後半
水彩・紙

レ・フイ・ホア　ベトナム
「（サーカス）」　1987
水彩・紙

卯

サイード・アハメッド・ホセイン　バングラデシュ
「にんじんをかじるうさぎ」　1994
油性ペイント・ブリキ

ドーンディ・カンタヴィライ　ラオス　「みなしごの笛」　1996
油彩・画布

辰

ドーンディ・カンタヴィライ　ラオス
「シンサイ」

巳

ザイニン・マンソール　ブルネイ
「毛布の中の敵―羊の皮を着た狼」　1997
油彩・画布

未

ス・シンピン（蘇新平）　中国
「網の中の羊 その一」　1992
リトグラフ・紙

猿

ドルヴァ・ミストリー　インド
「『空間のメタファー12』習作」　1989
グァッシュ、色鉛筆・紙

イ・デワ・プトゥ・モコ　インドネシア
「子供をさとす猿」　1994
アクリル・画布

酉

チャルーム・ナーキラック　タイ
「（闘鶏）」　1989
油彩・画布

戌

ポン・ホンヂィ（彭弘智）　台湾
「一匹のラッシー」　2000
「一匹のダルメシアン」
チバクローム・プリント、ライトボックス



ラギニ・ウパッダエ・グレラ

子

カルプーリー・デーヴィー　インド
「ガネーシャ」　1994
墨、顔料・紙

番外：十二支を探してみよう！

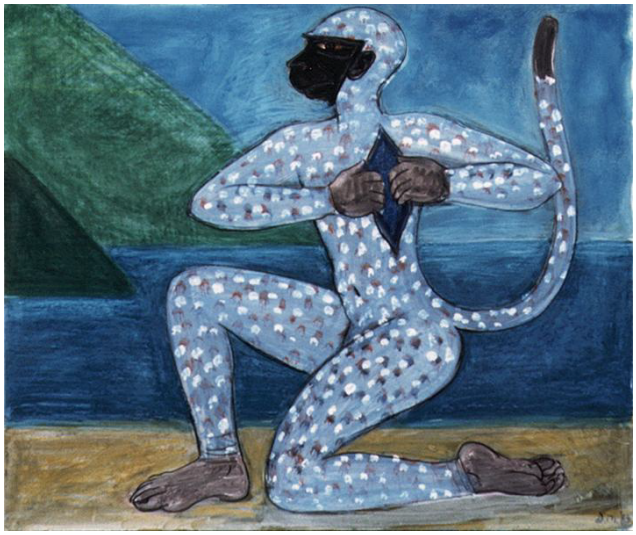
ワヤン・ベンディ　インドネシア
「バリの祭式」　1985
アクリル・紙

馬

グレゴリウス・シッダルタ　インドネシア
「天国からの騎手」　1982
木（マホガニー）、着彩

グアン・リンイン（関麟英）　中国
「活水」　1972
水彩・紙

カーマ・ワンディ　ブータン
「水―風の馬」　2003
インク、アクリル、古い旗



ドルヴァ・ミストリー



ポン・ホンヂィ（彭弘智）

亥

ラギニ・ウパッダエ・グレラ　ネパール
「豚の口に乗るりんご」　1999
油彩・画布

トー・ジ・エン　ベトナム
「（子沢山な豚）」　1967?
木版、手彩色・布

丑

イルサム　インドネシア
「村の幸福な生活」　1988
アクリル・画布

タイン・チュオン　ベトナム
「田園のかたわらで」　1999
漆・パネル